

令和8年2月6日 発表

【照会先】

ハローワーク湯沢（湯沢公共職業安定所）

所長 信太 浩信

企画紹介係 小林 凌一

電話 0183-73-6117

報道関係者 各位

管内高校生およびその保護者にアンケートを実施 ～よりよい進路選択へのサポートを探るため～

ハローワーク湯沢と湯沢雇用開発協会は、市内4校の高校2年生およびその保護者に対し、進路選択に関する支援策を探るためのアンケートを実施しましたので、ここにご報告いたします。

【調査結果トピックス】

■生徒は知識・情報を、保護者は体験・行動の機会を求めている。

進路選択に際して要望する事項は、生徒側は「もっと進路に関する知識や情報提供をしてほしい」
(24.4%) が最も多く、保護者側では「進路について考えさせる体験・行動の機会をもっと設けてほしい」
(17.2%) であった。

■生徒の要望は体験談よりもインターネットでの情報重視。【複数回答】

行政・湯沢雇用開発協会に期待する事としては、「地元企業の情報をインターネットで提供」
(26.8%) が最も多く、「職場見学・インターンシップ」
(26.7%) もほぼ同率となった。続いて「紙媒体の情報」は
23.5% だったのに対し、「先輩からの体験談」は
22.9% であった。

■地元以外の進路場所を選択する理由について【複数回答】

生徒は「行きたい学校があるから」
(16.1%) が最も多く、次は「就職したい業種・業務内容の企業があるから」
(11.8%) であった。その後、一人暮らしがしたい、プライベートの充実、インフラ環境と続いている。保護者は「一度地元を離れて一人で暮らした方が成長するから」
(19.4%) が最も多く、次いで「地元に希望する職種が無いから」
(14.7%) だった。ただし、「自宅から通ってほしい」も
13.4% あり地元就職してほしい気持ちも垣間見える。

■地元以外の進路で、地元に戻る意思がないと回答した生徒に戻るとしたら何が必要か質問した ら・・・（地元以外出身者除く）

最も多いものは「プライベートや娯楽が充実できる環境」
(22.7%) で、次は「インフラや生活環境など、生活しやすさの向上」
(20.2%) だが、「どんな条件が整っても戻るつもりはない」は
4.7% と低く、希望する企業や賃金水準・福利厚生など就職環境の整備が
46.9% と生活環境の
38.8% を上回っており、環境次第ではAターンを期待できる結果となっている。